

経営企画部長まとめ

本年7月に、政府において、エネルギー基本計画に基づく電源構成が決定され、また、年末にパリで開催される国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）に向け、日本の2030年までの温室効果ガス削減目標が決まりました。今後は、この電源構成や削減目標の確実な達成に向けて、さまざまな動きが活発化すると予想され、企業の環境に対する取組みはさらに重要となります。

こうした環境問題への対応をはじめとして、当社グループは、企業の社会的責任（CSR）を果たし、未来へ向けた持続可能な社会の実現に貢献するために、さまざまな活動を継続しています。「グループ経営構想V」において、「安全で品質の高いサービスを提供すること」「地域の発展に貢献すること」を「変わらぬ使命」と位置づけ、経営の最重要課題である安全性の向上や、社会への貢献にも積極的に取り組んでいるところです。

「CSR報告書2015」では、このような当社グループの安全・社会・環境に関わる活動について、多くの定量的なデータを記載し、写真や図などを用いて分かりやすく紹介しております。

また今年度は、CSR報告に関する世界的基準である「GRIガイドライン第4版（G4）」を参照し、「グループ経営構想V」に掲げる基本コンセプトおよび重要な経営課題をCSRの重要側面（マテリアリティ）として位置付け、GRIガイドライン対照表とあわせて巻末に掲載しております。さらに、「安全報告書」を新たに内容に取り込み、「安全」についての記載を従来にもまして充実させています。

加えて、「特集」として、北陸新幹線金沢開業や上野東京ラインを取り上げるとともに、「VOICE」（インタビュー）で6次産業化などに取り組む現場第一線の社員の生の声を掲載しております。これらにより、国内外のステークホルダーの皆さまに、当社グループの取組みをより具体的にご理解いただければと考えております。

なお、このCSR報告書は、当社グループの取組みについて、詳細を記載したWEB版であり、この他に内容を簡潔にまとめた「冊子版」をご用意しております。

今後も「グループ経営構想V」に基づき、国内外の動向も視野に入れながら、社会から寄せられるご期待やステークホルダーの皆さまからの信頼に応える企業グループをめざしてまいります。



執行役員
総合企画本部 経営企画部長
坂井 究